

2015 年度通年・後期
「授業改善のための学生アンケート」 結果報告書

白百合女子大学

目 次

1. 2015 年度後期「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要

① 目的	1
② 実施概要	1
③ 実施方法	1
④ 設定項目	2
⑤ アンケート用紙	3
⑥ 実施科目数	3

2. 2015 年度後期「授業改善のための学生アンケート」 集計結果

① 学部	4
② 大学院	9

3. 2015 年度後期「授業改善のための学生アンケート」 みなさんの声に応えて

① 学部科目 授業担当教員からのメッセージ	14
② F D推進委員会からのメッセージ	18

1. 2015 年度後期「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要

① 目的

- 1) さまざまな角度から学生の反応・実態を知ること、個々の授業の授業内容・教授方法等を、教員自身が見直し改善するための材料を提供する。あくまで教員の自発的な取り組みを助けるものであり、いかなる形においても、教員の評価・査定の資料とするものではない。
- 2) 設備や機材、資料など、学習に適した環境を大学がどの程度提供できているかを測定し、これを改善していくための材料を得る。
- 3) 学生が学びたい内容を適切なレベルできちんと教授できているかを知り、大学全体、あるいは学科や学年ごとのカリキュラム内容を、必要に応じて改善していくための材料を得る。
- 4) 科目に対する学生の意欲や、授業時間外での学習の実態を把握することで、カリキュラムが想定している努力を学生が傾けているかを測定し、必要に応じて改善の方法を探るための材料を得る。
- 5) 学生に対して、自らの学習のあり方を見直し、大学での学習をより実りあるものとするための材料を提供する。

② 実施概要

実 施 期 間：2016 年 1 月 13 日（水）～1 月 30 日（土）

実 施 対 象：原則としてすべての通年・後期科目

※ただし、履修人数が 5 名以下の授業や、授業形態から考えて調査実施が困難な授業などについては、担当教員の申出により、調査対象科目から除外する。

調 査 方 式：無記名式マークシート、自由記述欄あり（p.3 参照）

※学部・大学院統一フォーム

調査所要時間：約 15 分

③ 実施方法

- 1) 授業開始前に、授業担当教員は教務課でアンケート用紙の入った封筒を受け取る。
- 2) 授業終了の 15 分前を目安に、履修学生にアンケート用紙を配布する。
- 3) 任意で設定できる質問項目欄を使用する場合、あらかじめ用意してきた「学生に答えてほしい質問内容」を、口頭あるいは板書で学生に周知する。
- 4) 授業担当教員は、学生に対し実施目的をよく読み、回答を行うように指示する。
- 5) 学生がアンケートを記入している間は、授業担当教員は机間巡視等、必要以上に教室内を移動することで学生の記入の妨げにならないよう注意する。

- 6) 授業担当教員は、受講人数に応じた数の回収担当学生を指名し、終了時刻と同時にアンケート用紙を回収させ、所定の袋に入れ封をするよう指示をする。
- 7) 授業終了後、授業担当教員または回収担当学生は教務課にアンケート用紙を回収した厳封済みの袋を提出する。

④ 設問項目

- Q1 この授業にどの程度出席しましたか。
- Q2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。
- Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。
- Q4 この授業の内容を十分に習得できたか。
- Q5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。
- Q5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)
- Q6 教員の話は聞き取りやすかったですか。
- Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったか。
- Q9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。
- Q10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたか。
- Q11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたか。
- Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。
- Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。
- Q14 この授業の進度は適切でしたか。
- Q15 この授業の難易度は適切でしたか。
- Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。
- Q17 教室の設備は適切でしたか。
- Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。
- Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。
- Q20 この授業について、良かった点、改善してほしい点などを自由に記述してください。
- Q21 この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していることなどを、自由に記述してください。
- Q22 (教員より指示があった場合のみ記述してください)
- Q23① この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。

⑤ アンケート用紙

⑥ 实施科目数

3

授業改善のための学生アンケート

このアンケートは、本学の教員をさらに充実させるために行うものです。授業の内容や教え方、教員が授業をするための材料を揃えるのが大きな目的ですが、大学全体の学習環境の改善もよりよいものにしていく中で重要にしたいと考えています。同時に本学の学習意欲（モチベーション）を高めることも、学生がみなさんで自らの学習環境を整えることが重要と考えられています。この授業や授業環境を改善し、学生、教員、職員が協力して作り上げていくものです。以上の目的を十分に理解したうえで、率直に回答してください。

なお、このアンケートと成績評価とはいっしょな項目がありません。また、実技・論文指導など授業形態によって答えられない項目がある場合は、その項目には回答する必要はありません。

記入上の注意 1. 記入は必ず授業の開始前か終了後に行ってください。 2. 必ず十分検討の上、正直に記入してください。 3. 回答内容は匿名で集計され、個人情報は一切開示されません。 4. 記入は必ず授業の開始前か終了後に行ってください。 5. 記入は必ず授業の開始前か終了後に行ってください。

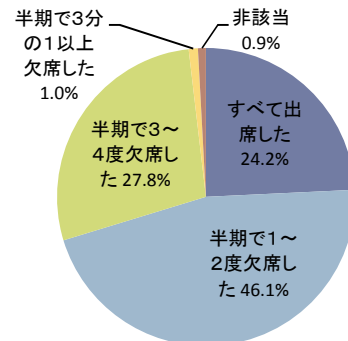
学 年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 7年 8年 9年 10年 11年 12年 13年 14年 15年 16年 17年 18年 19年 20年 21年 22年 23年 24年 25年 26年 27年 28年 29年 30年 31年 32年 33年 34年 35年 36年 37年 38年 39年 40年 41年 42年 43年 44年 45年 46年 47年 48年 49年 50年 51年 52年 53年 54年 55年 56年 57年 58年 59年 60年 61年 62年 63年 64年 65年 66年 67年 68年 69年 70年 71年 72年 73年 74年 75年 76年 77年 78年 79年 80年 81年 82年 83年 84年 85年 86年 87年 88年 89年 90年 91年 92年 93年 94年 95年 96年 97年 98年 99年 100年 101年 102年 103年 104年 105年 106年 107年 108年 109年 110年 111年 112年 113年 114年 115年 116年 117年 118年 119年 120年 121年 122年 123年 124年 125年 126年 127年 128年 129年 130年 131年 132年 133年 134年 135年 136年 137年 138年 139年 140年 141年 142年 143年 144年 145年 146年 147年 148年 149年 150年 151年 152年 153年 154年 155年 156年 157年 158年 159年 160年 161年 162年 163年 164年 165年 166年 167年 168年 169年 170年 171年 172年 173年 174年 175年 176年 177年 178年 179年 180年 181年 182年 183年 184年 185年 186年 187年 188年 189年 190年 191年 192年 193年 194年 195年 196年 197年 198年 199年 200年 201年 202年 203年 204年 205年 206年 207年 208年 209年 210年 211年 212年 213年 214年 215年 216年 217年 218年 219年 220年 221年 222年 223年 224年 225年 226年 227年 228年 229年 230年 231年 232年 233年 234年 235年 236年 237年 238年 239年 240年 241年 242年 243年 244年 245年 246年 247年 248年 249年 250年 251年 252年 253年 254年 255年 256年 257年 258年 259年 260年 261年 262年 263年 264年 265年 266年 267年 268年 269年 270年 271年 272年 273年 274年 275年 276年 277年 278年 279年 280年 281年 282年 283年 284年 285年 286年 287年 288年 289年 290年 291年 292年 293年 294年 295年 296年 297年 298年 299年 300年 301年 302年 303年 304年 305年 306年 307年 308年 309年 310年 311年 312年 313年 314年 315年 316年 317年 318年 319年 320年 321年 322年 323年 324年 325年 326年 327年 328年 329年 330年 331年 332年 333年 334年 335年 336年 337年 338年 339年 340年 341年 342年 343年 344年 345年 346年 347年 348年 349年 350年 351年 352年 353年 354年 355年 356年 357年 358年 359年 360年 361年 362年 363年 364年 365年 366年 367年 368年 369年 370年 371年 372年 373年 374年 375年 376年 377年 378年 379年 380年 381年 382年 383年 384年 385年 386年 387年 388年 389年 390年 391年 392年 393年 394年 395年 396年 397年 398年 399年 400年 401年 402年 403年 404年 405年 406年 407年 408年 409年 410年 411年 412年 413年 414年 415年 416年 417年 418年 419年 420年 421年 422年 423年 424年 425年 426年 427年 428年 429年 430年 431年 432年 433年 434年 435年 436年 437年 438年 439年 440年 441年 442年 443年 444年 445年 446年 447年 448年 449年 450年 451年 452年 453年 454年 455年 456年 457年 458年 459年 460年 461年 462年 463年 464年 465年 466年 467年 468年 469年 470年 471年 472年 473年 474年 475年 476年 477年 478年 479年 480年 481年 482年 483年 484年 485年 486年 487年 488年 489年 490年 491年 492年 493年 494年 495年 496年 497年 498年 499年 500年 501年 502年 503年 504年 505年 506年 507年 508年 509年 510年 511年 512年 513年 514年 515年 516年 517年 518年 519年 520年 521年 522年 523年 524年 525年 526年 527年 528年 529年 530年 531年 532年 533年 534年 535年 536年 537年 538年 539年 540年 541年 542年 543年 544年 545年 546年 547年 548年 549年 550年 551年 552年 553年 554年 555年 556年 557年 558年 559年 560年 561年 562年 563年 564年 565年 566年 567年 568年 569年 570年 571年 572年 573年 574年 575年 576年 577年 578年 579年 580年 581年 582年 583年 584年 585年 586年 587年 588年 589年 590年 591年 592年 593年 594年 595年 596年 597年 598年 599年 600年 601年 602年 603年 604年 605年 606年 607年 608年 609年 610年 611年 612年 613年 614年 615年 616年 617年 618年 619年 620年 621年 622年 623年 624年 625年 626年 627年 628年 629年 630年 631年 632年 633年 634年 635年 636年 637年 638年 639年 640年 641年 642年 643年 644年 645年 646年 647年 648年 649年 650年 651年 652年 653年 654年 655年 656年 657年 658年 659年 660年 661年 662年 663年 664年 665年 666年 667年 668年 669年 670年 671年 672年 673年 674年 675年 676年 677年 678年 679年 680年 681年 682年 683年 684年 685年 686年 687年 688年 689年 690年 691年 692年 693年 694年 695年 696年 697年 698年 699年 700年 701年 702年 703年 704年 705年 706年 707年 708年 709年 710年 711年 712年 713年 714年 715年 716年 717年 718年 719年 720年 721年 722年 723年 724年 725年 726年 727年 728年 729年 730年 731年 732年 733年 734年 735年 736年 737年 738年 739年 740年 741年 742年 743年 744年 745年 746年 747年 748年 749年 750年 751年 752年 753年

2. 2015年度後期「授業改善のための学生アンケート」の集計結果

① 学部

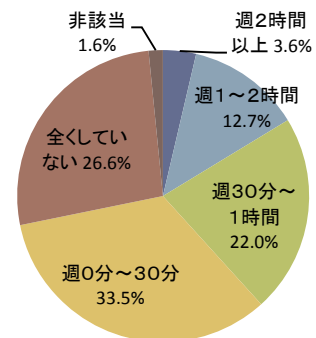
Q 1 この授業にどの程度出席しましたか。

No.	Category	度数	%
1	すべて出席した	3,795	24.2%
2	半期で1～2度欠席した	7,214	46.1%
3	半期で3～4度欠席した	4,358	27.8%
4	半期で3分の1以上欠席した	161	1.0%
5	非該当	134	0.9%
	合計	15,662	



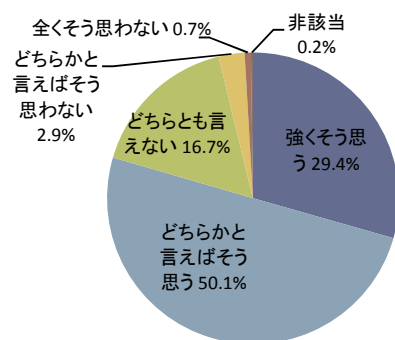
Q 2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。

No.	Category	度数	%
1	週2時間以上	569	3.6%
2	週1～2時間	1,985	12.7%
3	週30分～1時間	3,442	22.0%
4	週0分～30分	5,252	33.5%
5	全くしていない	4,164	26.6%
6	非該当	250	1.6%
	合計	15,662	



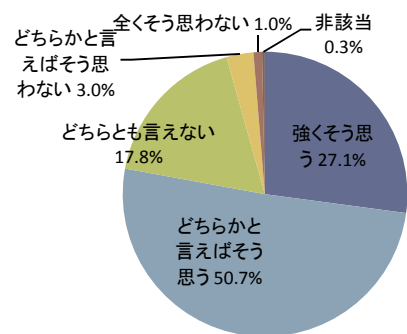
Q 3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	4,606	29.4%
2	どちらかと言えば思う	7,845	50.1%
3	どちらとも言えない	2,615	16.7%
4	どちらかと言えば思わない	452	2.9%
5	全く思わない	108	0.7%
6	非該当	36	0.2%
	合計	15,662	



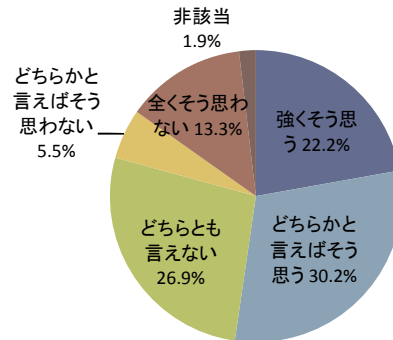
Q 4 この授業の内容を十分に習得できたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	4,250	27.1%
2	どちらかと言えば思う	7,948	50.7%
3	どちらとも言えない	2,783	17.8%
4	どちらかと言えば思わない	477	3.0%
5	全く思わない	150	1.0%
6	非該当	54	0.3%
	合計	15,662	



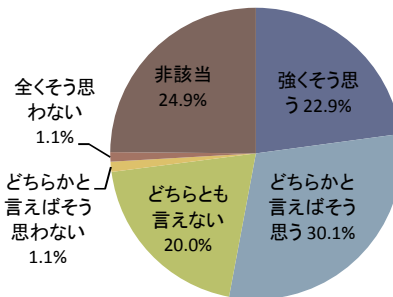
Q 5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3,473	22.2%
2	どちらかと言えそう思う	4,725	30.2%
3	どちらとも言えない	4,216	26.9%
4	どちらかと言えそう思わない	869	5.5%
5	全くそう思わない	2,087	13.3%
6	非該当	292	1.9%
	合計	15,662	



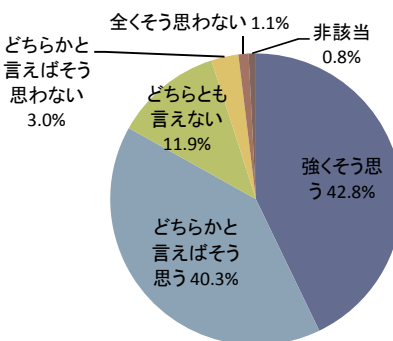
Q 5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3,579	22.9%
2	どちらかと言えそう思う	4,719	30.1%
3	どちらとも言えない	3,130	20.0%
4	どちらかと言えそう思わない	176	1.1%
5	全くそう思わない	165	1.1%
6	非該当	3,893	24.9%
	合計	15,662	



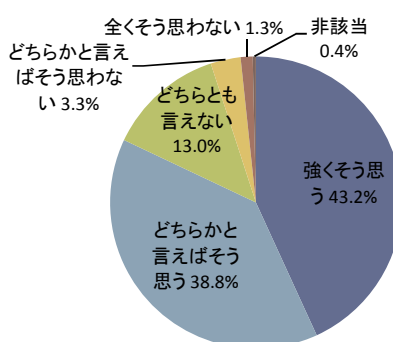
Q 6 教員の話は聞き取りやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	6,711	42.8%
2	どちらかと言えそう思う	6,305	40.3%
3	どちらとも言えない	1,868	11.9%
4	どちらかと言えそう思わない	474	3.0%
5	全くそう思わない	174	1.1%
6	非該当	130	0.8%
	合計	15,662	



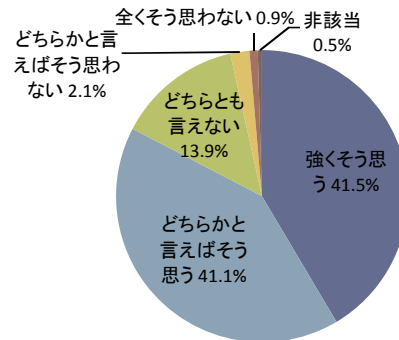
Q 7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	6,761	43.2%
2	どちらかと言えそう思う	6,084	38.8%
3	どちらとも言えない	2,031	13.0%
4	どちらかと言えそう思わない	523	3.3%
5	全くそう思わない	208	1.3%
6	非該当	55	0.4%
	合計	15,662	



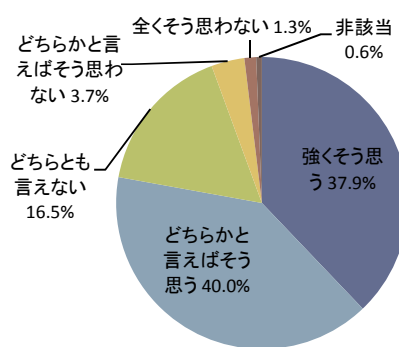
Q 8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	6,496	41.5%
2	どちらかと言えば思う	6,444	41.1%
3	どちらとも言えない	2,173	13.9%
4	どちらかと言えば思わない	334	2.1%
5	全く思わない	143	0.9%
6	非該当	72	0.5%
	合計	15,662	



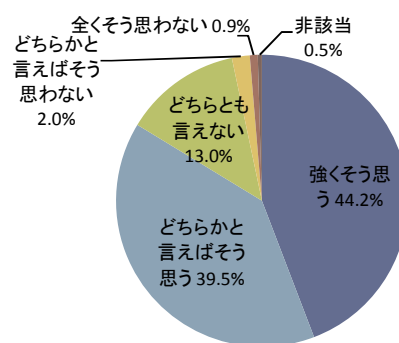
Q 9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	5,931	37.9%
2	どちらかと言えば思う	6,262	40.0%
3	どちらとも言えない	2,591	16.5%
4	どちらかと言えば思わない	574	3.7%
5	全く思わない	204	1.3%
6	非該当	100	0.6%
	合計	15,662	



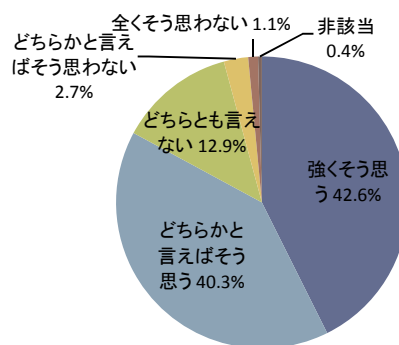
Q 10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	6,923	44.2%
2	どちらかと言えば思う	6,188	39.5%
3	どちらとも言えない	2,032	13.0%
4	どちらかと言えば思わない	307	2.0%
5	全く思わない	136	0.9%
6	非該当	76	0.5%
	合計	15,662	



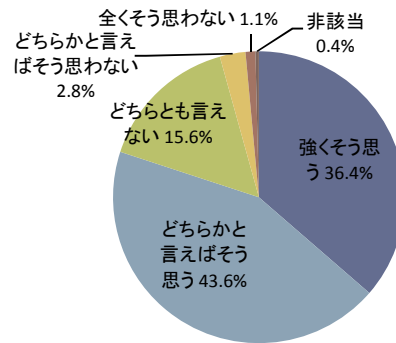
Q 11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	6,679	42.6%
2	どちらかと言えば思う	6,304	40.3%
3	どちらとも言えない	2,020	12.9%
4	どちらかと言えば思わない	421	2.7%
5	全く思わない	169	1.1%
6	非該当	69	0.4%
	合計	15,662	



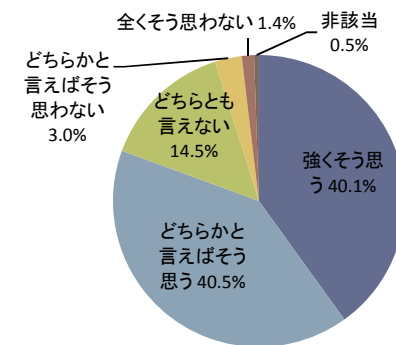
Q 1 2 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	5,699	36.4%
2	どちらかと言えば思う	6,835	43.6%
3	どちらとも言えない	2,451	15.6%
4	どちらかと言えば思わない	446	2.8%
5	全く思わない	170	1.1%
6	非該当	61	0.4%
	合計	15,662	



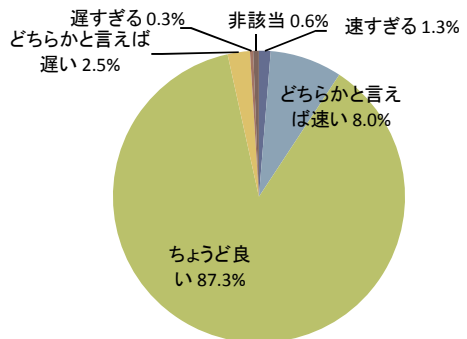
Q 1 3 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	6,277	40.1%
2	どちらかと言えば思う	6,344	40.5%
3	どちらとも言えない	2,275	14.5%
4	どちらかと言えば思わない	470	3.0%
5	全く思わない	214	1.4%
6	非該当	82	0.5%
	合計	15,662	



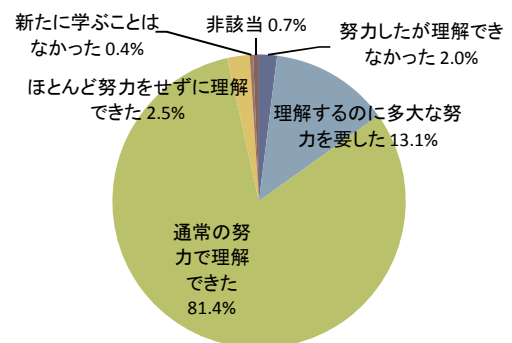
Q 1 4 この授業の進度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	速すぎる	198	1.3%
2	どちらかと言えば速い	1,252	8.0%
3	ちょうど良い	13,671	87.3%
4	どちらかと言えば遅い	387	2.5%
5	遅すぎる	53	0.3%
6	非該当	101	0.6%
	合計	15,662	



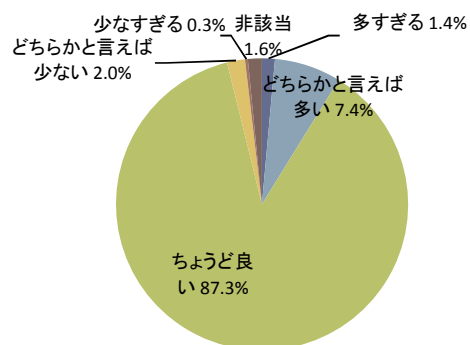
Q 1 5 この授業の難易度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	努力したが理解できなかった	309	2.0%
2	理解するのに多大な努力を要した	2,054	13.1%
3	通常の努力で理解できた	12,752	81.4%
4	ほとんど努力をせずに理解できた	389	2.5%
5	新たに学ぶことはなかった	55	0.4%
6	非該当	103	0.7%
	合計	15,662	



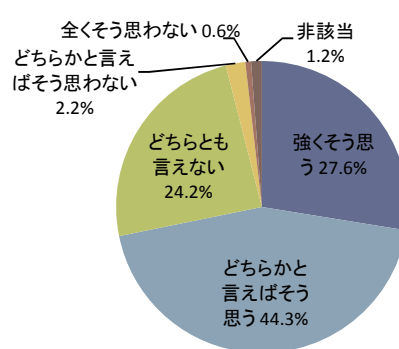
Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	222	1.4%
2	どちらかと言えば多い	1,156	7.4%
3	ちょうど良い	13,679	87.3%
4	どちらかと言えば少ない	312	2.0%
5	少なすぎる	48	0.3%
6	非該当	245	1.6%
	合計	15,662	



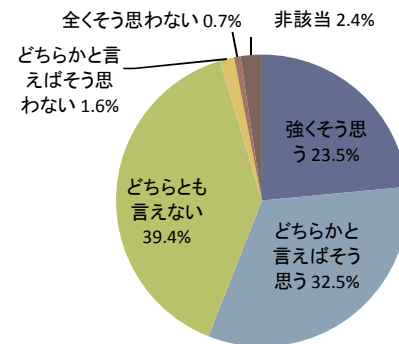
Q17 教室の設備は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,317	27.6%
2	どちらかと言えばそう思う	6,931	44.3%
3	どちらとも言えない	3,786	24.2%
4	どちらかと言えばそう思わない	340	2.2%
5	全くそう思わない	99	0.6%
6	非該当	189	1.2%
	合計	15,662	



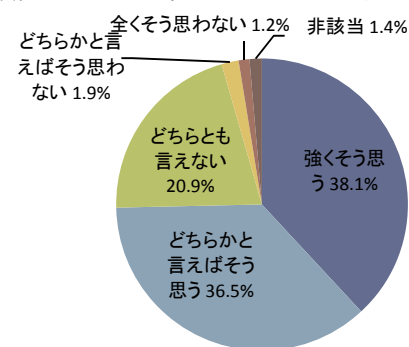
Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3,675	23.5%
2	どちらかと言えばそう思う	5,095	32.5%
3	どちらとも言えない	6,163	39.4%
4	どちらかと言えばそう思わない	247	1.6%
5	全くそう思わない	112	0.7%
6	非該当	370	2.4%
	合計	15,662	



Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

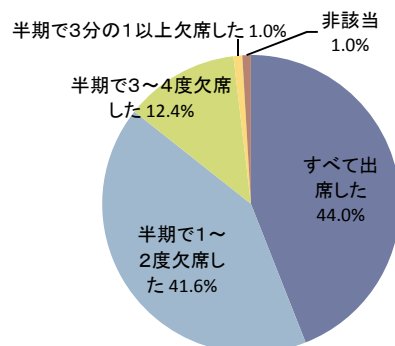
No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	5,968	38.1%
2	どちらかと言えばそう思う	5,721	36.5%
3	どちらとも言えない	3,273	20.9%
4	どちらかと言えばそう思わない	294	1.9%
5	全くそう思わない	188	1.2%
6	非該当	218	1.4%
	合計	15,662	



② 大学院

Q 1 この授業にどの程度出席しましたか。

No.	Category	度数	%
1	すべて出席した	92	44.0%
2	半期で1～2度欠席した	87	41.6%
3	半期で3～4度欠席した	26	12.4%
4	半期で3分の1以上欠席した	2	1.0%
5	非該当	2	1.0%
	合計	209	



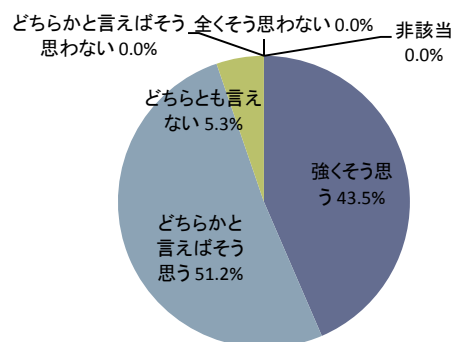
Q 2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。

No.	Category	度数	%
1	週2時間以上	0	
2	週1～2時間	0	
3	週30分～1時間	0	
4	週0分～30分	0	
5	全くしていない	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

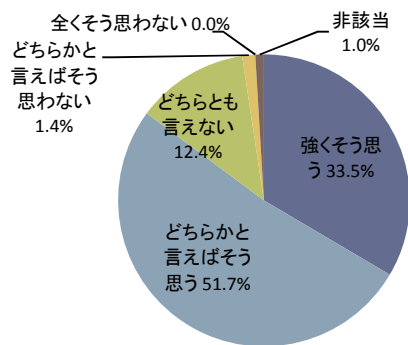
Q 3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	91	43.5%
2	どちらかと言えばそう思う	107	51.2%
3	どちらとも言えない	11	5.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	209	



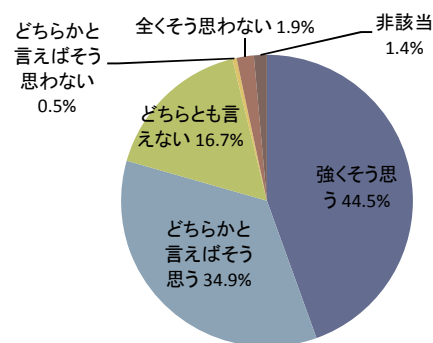
Q 4 この授業の内容を十分に習得できたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	70	33.5%
2	どちらかと言えばそう思う	108	51.7%
3	どちらとも言えない	26	12.4%
4	どちらかと言えばそう思わない	3	1.4%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	2	1.0%
	合計	209	



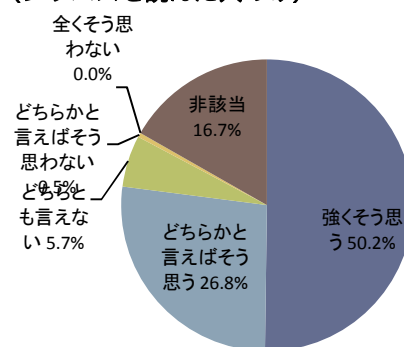
Q 5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	93	44.5%
2	どちらかと言えはそう思う	73	34.9%
3	どちらとも言えない	35	16.7%
4	どちらかと言えはそう思わない	1	0.5%
5	全くそう思わない	4	1.9%
6	非該当	3	1.4%
	合計	209	



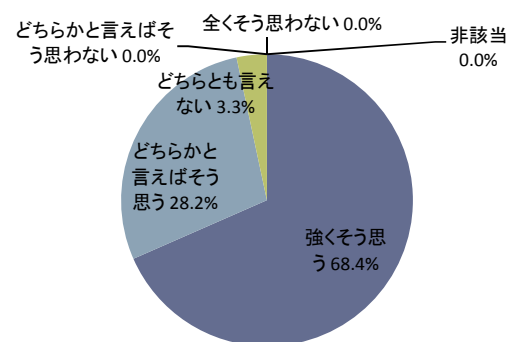
Q 5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	105	50.2%
2	どちらかと言えはそう思う	56	26.8%
3	どちらとも言えない	12	5.7%
4	どちらかと言えはそう思わない	1	0.5%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	35	16.7%
	合計	209	



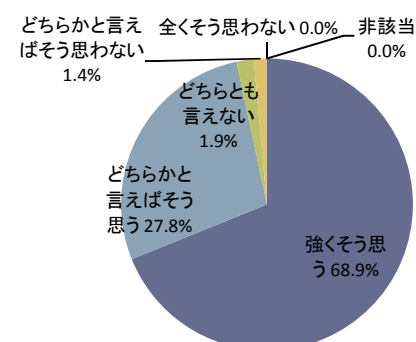
Q 6 教員の話は聞き取りやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	143	68.4%
2	どちらかと言えはそう思う	59	28.2%
3	どちらとも言えない	7	3.3%
4	どちらかと言えはそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	209	



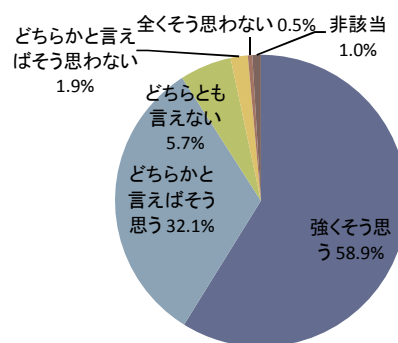
Q 7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	144	68.9%
2	どちらかと言えはそう思う	58	27.8%
3	どちらとも言えない	4	1.9%
4	どちらかと言えはそう思わない	3	1.4%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	209	



Q 8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	123	58.9%
2	どちらかと言えば思う	67	32.1%
3	どちらとも言えない	12	5.7%
4	どちらかと言えば思わない	4	1.9%
5	全く思わない	1	0.5%
6	非該当	2	1.0%
	合計	209	



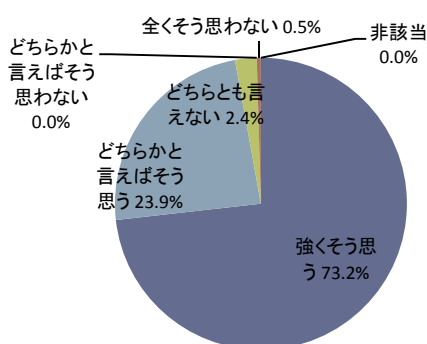
Q 9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	0	
2	どちらかと言えば思う	0	
3	どちらとも言えない	0	
4	どちらかと言えば思わない	0	
5	全く思わない	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

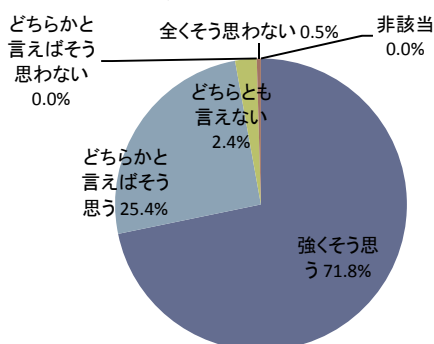
Q 10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	153	73.2%
2	どちらかと言えば思う	50	23.9%
3	どちらとも言えない	5	2.4%
4	どちらかと言えば思わない	0	0.0%
5	全く思わない	1	0.5%
6	非該当	0	0.0%
	合計	209	



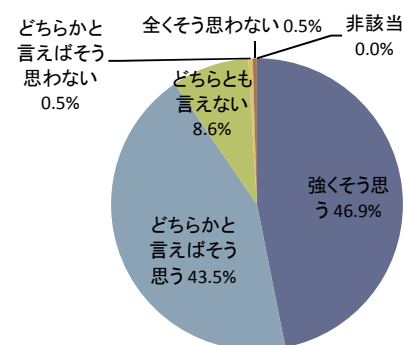
Q 11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	150	71.8%
2	どちらかと言えば思う	53	25.4%
3	どちらとも言えない	5	2.4%
4	どちらかと言えば思わない	0	0.0%
5	全く思わない	1	0.5%
6	非該当	0	0.0%
	合計	209	



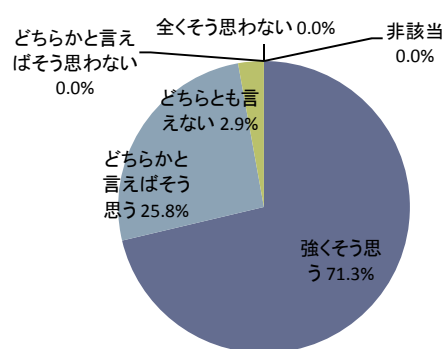
Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	98	46.9%
2	どちらかと言えば思う	91	43.5%
3	どちらとも言えない	18	8.6%
4	どちらかと言えば思わない	1	0.5%
5	全く思わない	1	0.5%
6	非該当	0	0.0%
	合計	209	



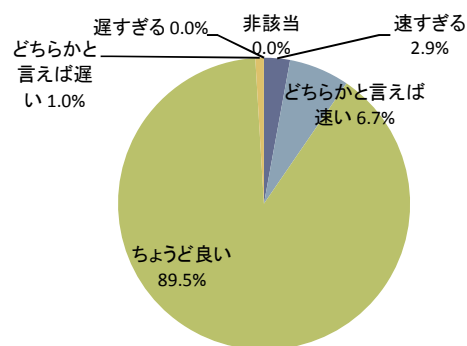
Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	149	71.3%
2	どちらかと言えば思う	54	25.8%
3	どちらとも言えない	6	2.9%
4	どちらかと言えば思わない	0	0.0%
5	全く思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	209	



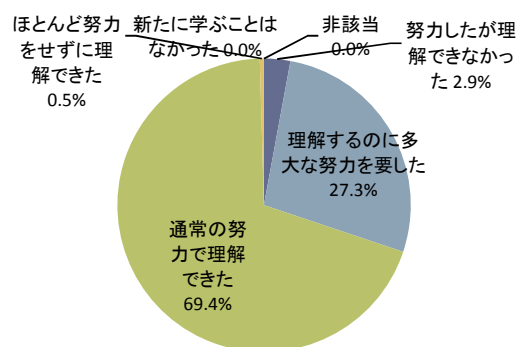
Q14 この授業の進度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	速すぎる	6	2.9%
2	どちらかと言えば速い	14	6.7%
3	ちょうど良い	187	89.5%
4	どちらかと言えば遅い	2	1.0%
5	遅すぎる	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	209	



Q15 この授業の難易度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	努力したが理解できなかった	6	2.9%
2	理解するのに多大な努力を要した	57	27.3%
3	通常の努力で理解できた	145	69.4%
4	ほとんど努力をせずに理解できた	1	0.5%
5	新たに学ぶことはなかった	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	209	



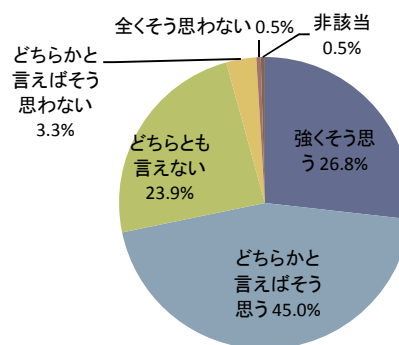
Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	0	
2	どちらかと言えば多い	0	
3	ちょうど良い	0	
4	どちらかと言えば少ない	0	
5	少なすぎる	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

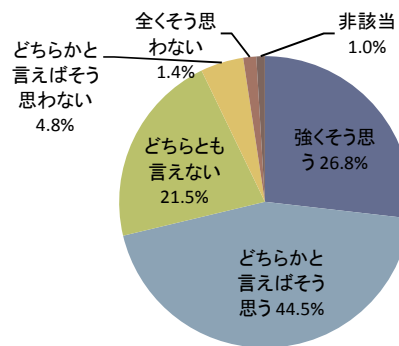
Q17 教室の設備は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	56	26.8%
2	どちらかと言えばそう思う	94	45.0%
3	どちらとも言えない	50	23.9%
4	どちらかと言えばそう思わない	7	3.3%
5	全くそう思わない	1	0.5%
6	非該当	1	0.5%
	合計	209	



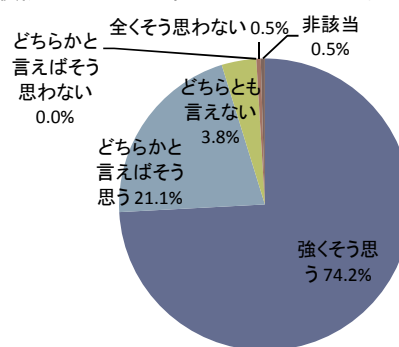
Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	56	26.8%
2	どちらかと言えばそう思う	93	44.5%
3	どちらとも言えない	45	21.5%
4	どちらかと言えばそう思わない	10	4.8%
5	全くそう思わない	3	1.4%
6	非該当	2	1.0%
	合計	209	



Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	155	74.2%
2	どちらかと言えばそう思う	44	21.1%
3	どちらとも言えない	8	3.8%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	1	0.5%
6	非該当	1	0.5%
	合計	209	



3. 2015 年度後期「授業改善のための学生アンケート」みなさんの声に応じて

学生の皆さんが回答してくれたアンケート結果は、個人が特定されないように集計された後、自由記述も含めて、担当教員へすべて確実に届いています。この章では、アンケートを通じて届けられたみなさんの声に応じて、授業毎に担当教員からのメッセージをお戻しします。

① 学部科目 授業担当教員からのメッセージ

宗教学ⅠN・宗教学ⅡN	ヤノチンスキー ポール	2015/火3/通年
■<u>Q21 この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していることなどについて</u> アンケートはどうもありがとうございました。普段、気が付かないことが指摘されました。 誤解：原発を廃止する、と。その意味ではなく“キリスト教徒の自由”(M.ルター)を紹介しか考えていなかった。それにしても、こんどは誤解にならないようにもっとはっきりと話します。 細かいいろいろなこともあります。導入するでしょう。ありがとう。		

図書館情報技術論	今井 福司	2015/月1・2/後期
■<u>Q20 この授業について、良かった点、改善してほしい点について</u> 授業で課している Web ページ課題について、様々なコメントを頂き有り難うございます。なるべく授業外でも作業できるようにシステム等を構築したつもりでしたが、一部の方より自宅では作業できなかった旨のご指摘がありました。Windows ベースの PC 以外も多く普及している状況を考慮すると、それらへの配慮（もしくは事前に注意として説明しておくこと）が必要だと思います。なお、作品について全員の前で見せて欲しくないとのコメントについてですが、あらかじめ承諾を取ることがタイミング的に難しいことと、優秀な作品は何が良いのかを共有しておきたいことの 2 点がクリアできるかどうかという問題があり、悩んでおります。ただ、このようにコメント頂いた以上、何らかの対応をすべきと考えております。ありがとうございました。		

情報資源組織論	今井 福司	2015/火5/後期
■<u>Q20 この授業について、良かった点、改善してほしい点について</u> 板書が着席位置によって見えづかったとのご指摘を頂戴いたしました。この授業は座席指定を最初に行っている以上、教員側で対応できる問題ですので、廊下側の列には着席させず、真ん中に少し移動して座って頂くなどの配慮が必要だと感じます。板書でプリントにメモする箇所が時々分からなくなるとのご指摘、有り難うございます。こち		

らも進行上の工夫でなんとかできると思いますので、対応したいと思います。

なお、コメントシートの返答については、ご好評頂いているようで大変嬉しいです。ただし申し上げたとおり、返答にかなりの時間がかかっております。今後、効率化を図りながら、かつ継続できる方法を模索して参りたいと思います。

情報資源組織演習（目録）	今井 福司	2015/水 3・4・5/後期
■Q20 この授業について、良かった点、改善してほしい点について 板書に関して読みにくいとのこと指摘、有り難うございます。演習授業ということで、時間進行等が他の授業に比べて制約が大きいことから、慌てて板書をしているケースもありましたし、特に 3 限の場合はその日の最初の授業ともあって、板書そのもののレイアウトが上手くいかないケースもありました。このあたりは授業準備をきっちり行わなければならないところですので、来年度以降、十分に気をつけたいと思います。 演習成果について答え合わせができればよいとのことご提案有り難うございます。教科書の問題については、正解を提示することができるのですが、教員が持ち込んだ素材については「正解を提示することが難しい」ことが素材の面白さでもあるので、必ずこれが正解であると提示することが難しい状況です。ただし、それであっても教員による一種の「お手本」を提示することはできるかもしれませんので、早めに授業準備を行い、お手本が提示できるように取り組んでみたいと思います。 授業前の雑談が後半少なくなったとのこと指摘については、授業の本題とは異なるので難しいところですが、授業時間のマネジメントが後半になるについて上手くいかなかったことが原因であるかも知れませんが、もう少し余裕を持って進行できるよう改善を図って参りたいと思います。		

国語国文学特講（演劇）	安富 順	2015/月 2/通年
アンケートにご協力頂きありがとうございます。ご指摘の内、 ■Q9 板書（パワーポイント含む）はわかりやすかったですか。について 分かりにくいとのこと指摘がありました。一層分かりやすくお伝え出来るよう丁寧な板書に努めたく存じます。 拙い講義に 1 年間お付き合いを賜り恐縮千万に存じます。今後とも分かりやすい講義をめざし努力してまいります。何卒宜しくお願い申し上げます。		

児童文化講義・おもちゃ論	森下 みさ子	2015/金 4/通年
50 人近い受講者がいましたが、広々とした教室だったので、下記のようなコメントをいただきました。 「履修人数に比べて、教室が広すぎると感じました。適切な広さであればもっと授業に		

活気がでたと思います。」

確かにそうですね。途中から実際におもちゃで遊びながら考える時間とコーナーを設けた結果「実際に触って遊んでみるのがよかった。」「実際に触れつつ、歴史や対象との関係など、おもちゃの役割について知ることができた。」など、たくさんの好評をいただきました。この（おもちゃで遊ぶときに生じる）ゴタゴタ感を伴う熱気を帯びた体験は、おもちゃとヒトとのかかわりを考えるうえで大事なものです。が、教室が広すぎると、せっかく感じ取った熱気がばらけてしまう感じがします。

適当な広さの教室に移るという手もありますが、そうそう適した教室はないと思うので、このような場合は、後ろと両端の何列かは使わないようにして、集中しやすいように工夫してみようと思います。

授業内の時間を区切ってメリハリをつけるという方法は皆さんとのやりとりから学びましたが、今後は教室も上手に区切って使用してみようと思います。

今後も授業のプロデュースに役立つご意見や感想を送ってください。ありがとうございました。

日本児童文学原典講読B

奥山 恵 （中川／奥山）

2015／水2／通年

概ね、みなさんよく取り組んでくれたと思います。

■Q18やQ20の「資料」について

コメントなどを見ると、自分で本を見つけて読んでくるのが、たいへんだった印象を受けます。現代児童文学は、長編が多いので、プリントで配ることができない場合が多いのですが、年間5～6冊程度なので、なんとか探して読んでほしいと思います。本や資料の探し方のポイントをもう少しこまかく伝えけるとともに、なるべく入手しやすい作品を選ぶようにします。

■Q20の「教室が寒い」というコメントについて

半地下の教室だったので、座る場所によっては寒かったのかもしれませんが、気づきませんでした。授業の時に、遠慮なく言っていただければ対処します。

児童文学入門

奥山 恵 （白井／奥山）

2015／水3／通年

概ね、みなさんよく取り組んでくれたと思います。

■Q20の「板書」について

プロジェクターで提示した内容がやや多すぎたかもしれませんので、もう少しまとめるようにします。

■Q20の「本を借りてくる」について

現代児童文学は、長編や絵本が多いので、プリントなどで配布できない場合が多いのですが、年間5～6冊程度なので、資料探索の訓練と思ってなんとか探して読んでほしい

と思います。本や資料の探し方のポイントをもう少しこまかく伝えるとともに、なるべく入手しやすい作品を選ぶようにします。

子どもの保健ⅠA	内山 有子	2015/月 5/後期
■【Q1 出席】について すべて出席した学生が 37%、1～2 度欠席が約 48%、3～4 度欠席が約 15%と出席率が若干低めであるが、実習期間と重なり欠席が多くなってしまった学生がいたことより、今後、実習による欠席者への対応を考えていきたい。 ■【Q2 授業以外の学習】について 授業以外の学習時間が「0～30 分」が約 34%、「全くしていない」が 37%いたことより、今後、授業外学習に関して的確な指示を出し、その成果を確認していきたいと考える。 また、授業への取り組み、授業内容の習得は「強くそう思う」「どちらかと言えばそう思う」が合計約 9 割となり、また、授業内容についても教科書、資料、板書等を適切という回答も 9 割を超えていることより、適切な進度で授業を進められたのではないかとと思われる。その結果が、「授業の目的や到達目標を十分に理解できた」と回答した学生が約 95%となったことにつながっていると考え。 自由記述に、プリントの完成度、具体例を用いた説明などへの高評価が書かれていたことを今後も参考にしていきたい。		

② F D 推進委員会からのメッセージ

「授業改善のための学生アンケート」をはじめ、よりよい学びについて考える様々な機会を提供していく役割を担っているのが F D 推進委員会です。F D 推進委員会からは、アンケートそのものの適切性についての設問 (Q23) で寄せられた学生のみなさんの声に応えます。また、アンケート結果からみられる全学的な傾向を踏まえて、みなさんへよりよい学びのためのメッセージをとどけます。

「Q23① この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。」に対する回答は、以下のとおりでした。

「はい」	12,307 件	78%
「いいえ」	297 件	2%
「無回答」	3,267 件	20%

「Q23② (Q23①で「いいえ」と答えた人のみ) 欠けている項目、不適切な項目などを、具体的に記述しなさい。」に対して、次のようなコメントが寄せられました。

アンケートについてのコメント 1

「Q15 この授業の難易度は適切でしたか。」の選択肢が選びにくいです。(9 件)

ご自身の回答に近い選択肢が用意されていないというご意見と受け止めました。このような場合には、Q20 (この授業についてのよい点、改善点を問う設問) の自由記述欄へ「Q15 では○番を選択しましたが、実際には○○と思いました」というように記述してください。

「Q15 この授業の難易度は適切でしたか。」という設問には元々別の選択肢が用意されていましたが、2013 年度より現在の選択肢に変更したという経緯があります。

【2012 年度まで】

1. 難しすぎる
2. どちらかと言えば難しい
3. ちょうど良い
4. どちらかと言えば易しい
5. 易しすぎる

→

【2013 年度から】

1. 努力したが理解できなかった
2. 理解するのに多大な努力を要した
3. 通常の努力で理解できた
4. ほとんど努力をせずに理解できた
5. 新たに学ぶことはなかった

これにより、教員は学生のみなさんの様子をより具体的に知り、授業の点検・改善を行うことができるようになりました。一方で、学生のみなさんにとっても、自分の授業への取り組みがどうであったかを振り返る機会になることを期待しています。

今後も FD 推進委員会ではよりよい学びのための率直かつ建設的なご意見を歓迎いたします。みなさんの声をどうぞお寄せください。